



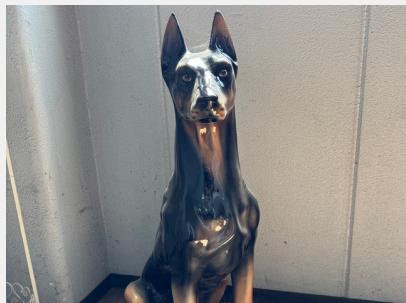
## 新たな居場所を。

府中で中古・ブランド家具に特化したりサイクル事業をされている(株)モーベルマンさん。

買い取りの際は、その家具の価値をしつかり評価し、日本一の値段で買い取りたいそうです。

家具店と運送会社が同一の建物内で運営しているのは全国でも稀で、でもだからこそその迅速な出荷対応もできるそうです。

修繕・メンテナンスを通じた価値の再創造もされているそうで、いろいろなお話を伺い致しました！



### 株式会社モーベルマン

職人の技、時代を超える美しさが宿る  
そんな家具に、再び命を吹き込み  
次世代へ橋渡しすることを使命と考え、「価値あるデザインを次世代につなぐ」ことを理念としています。  
循環型社会の実現に貢献しながら、家具を通じて空間と暮らしを豊かにする提案を続けていきます。

〒183-0035

府中市四谷6-56-3-3F

TEL : 042-306-6418

取材：2025年9月17日



# (株)モーベルマン

代表取締役社長  
丸島 祥平 氏



村野広報委員長  
事務所の下の階が運送会社さん  
なんですね。（モーベルマンさんの  
会社は建物の三階）



丸島さん  
そうなんです。家具屋として、  
運送会社さんと同じ建物内でやっ  
ているというのは、全国でうちだ  
けなんです。とても良くして頂い  
ていて、助かっています。

村野広報委員長  
時短にもつながる感じですね。

丸島さん  
そうですね。売れたらエレベー  
ターで下に運ぶ、というかたちで  
やらせて頂いております。

立上げたのは八王子です。  
府中に引っ越してきたのが五年前  
で、こちらの知り合いや友達も少な  
いというところで、こういう会に入  
らせて頂いて、知見を広められたら  
なと思つて参加させて頂いておりま  
す。

村野広報委員長  
よろしくお願ひします。  
お仕事はずつと府中ですか？

丸島さん  
立ち上げたのは八王子です。  
八王子でも法人会みたいなところ  
には入られてたんですか？

一旦インタビューは会議室でやら  
せて頂いて、後ほど事務所などもご  
案内いたします。

村野広報委員長

ありがとうございます。

今回（の取材先）は若手経営者と  
いうことで、もう一社は柏江のにあ  
る谷田部木材さんというところで  
す。

丸島さん

お声がけいただいて光榮です。

パンフレットがまだ作成できてい  
ないんですが、ちょうどメインバン  
クの担当の方に教えて頂いて、モ多  
摩ブルー・グリーン賞に応募した  
ときの申込書があるので、こちらも  
参考にして頂ければと思います。  
法人会には参加させて頂いたばか  
りで、まだ分からぬこともあります  
ですが、よろしくお願ひいたしま  
す。

丸島さん  
八王子の時はまだ入ってなかつた  
です。  
法人としては四期目で、個人事業  
主の時期がちょっと長かったので、  
こういう経営者が集まる会などには  
参加していなかつたんです。  
でも法人化を機に、経営の方に目  
を向けるようになりまして、先輩方  
にお話を伺つて、勉強になるな、經  
営つて難しいなと思いながら、最近  
は楽しくなつてきております。

丸島さん

八王子でも法人会みたいなところ  
には入られてたんですか？

村野広報委員長



# (株)モーベルマン

代表取締役社長  
丸島 祥平 氏



村野広報委員長  
どのようなところから仕入れされてるんですか？

丸島さん

一般のお客様からの買取りも受け付けておりますし、片付けの仕事もやっているんですけど、メインはリサイクル業者さんからの仕入れになります。

『リサイクル業者』というものにもいろいろあつて、何でも扱う総合リサイクルショップや、アパレル、ブランド品、書籍といった専門ショップ、もしくは廃品回収屋もリサイクル業者のひとつです。そういう『家具を専門にしていない業者』から仕入れたものを、弊社の倉庫できれいに掃除し、壊れている部分を修理した上でネット販売しています。

そうして次世代に繋いでいくための、**価値が上がるようなメンテナンス**をして、それを主にネットで販売しています。

村野広報委員長

価値を上げるような修繕ですか。

丸島さん

そうですね、修理であつたり埃を落とすだけのようなものもありますが、元の状態に戻すような修繕とか。次の方に気持ちよく使って頂けるようなメンテナンスをしております。

村野広報委員長

先ほど、スタッフの方も何人かいらっしゃいましたね。

丸島さん

正社員は四名、アルバイトが十名で回しております、平均年齢は二十八歳といことでなかなか若いんじゃないかなと思っています。

村野広報委員長  
二十八歳、それは若いですね。



丸島さん  
近くの中央大学の学生さんとかがアルバイトで来てくれています。

僕自身も中央大学出身でして、多

摩地域には十八歳の頃から住んでいて、どっぷりとこの辺に浸かっています。どうな感じでやらせて頂いており

ます。

丸島さん

じゃあ八王子からここに移転するときも、なんとなくは土地勘がある感じですか？

丸島さん

そうですね。なんとなくこの辺りだなという感じですね。

丸島さん

ちなみにご出身は？

丸島さん

静岡の浜松市です。餃子の町ですね。うなぎは庶民の口にはなかなか入らないので、餃子をよく食べてましたね（笑）。

十八歳の時に大学へ通うために上

京しまして、卒業して一年間は中古の家具屋さんではたらいていて、それから独立して個人事業主として始めたという感じです。

大学入学した時は法学部で、法律を学んで弁護士になろうと思つて上京したんだけど、卒業するころには中古家具をやりたいなと思つていま



# (株)モーベルマン

代表取締役社長  
丸島 祥平 氏



村野広報委員長

それはもともと好きなデザイナーの家具が良いとか、何かあつてやりたいと思われたんですか？

丸島さん

やつぱりデザインというか、大きくてデザイン性のあるものって楽しさがあるじゃないですか。

でも家具はリサイクル業界の中では、少し扱い辛いと思われているところもあり、修業時代に「次

世代につなげる価値のあるものなのに捨てられてしまうんだな」と思つていました。それと同時に、これはビジネスチャンスにもなるし、廃棄物が減ることによつて環境にも良いことだし、これが僕にできることなんじやないかなと思いまして創業いたしました。

村野広報委員長

修行中から考えられていたんですね。

村野広報委員長  
二十四で立ち上げつてすごいですね。

丸島さん

ありがとうございます。

当時は、単なる家具マニアというかデザインが好きだという気持ちが強くて、がむしゃらに始めたんですけども、法人化してからは経営の方に目が向くようになつきました。決算書の内容も、自分で書いたのを自分で理解できてきて、簿記について学んだりとか楽しくなつてきたところです。

大学は法学部でしたけど、やつていたのは財務とかの話ではなく民法などで、簿記などをやり始めたのは法人化してからになります。

村野広報委員長  
そうですね。実際に自分でやり始めてからですよね、私もそうでした。

丸島さん

そうですね。次の世代につないでいく価値のあるものが集まる会社にしたいなと思っております。まだ僕自身子供はいなくて、事業承継っていうところではないんですけど、将来的にはつて思つていますね。

二十四のときに（個人事業主として）始めて、今年で三十五になりました。



丸島さん  
そうなんですね。  
自分で仕入れたものがこうなつている、と思うとイメージが沸くんですけど、個人事業主の頃は、まずは家具の知識をつけるのが大事だ、同じような中古家具を扱う皆さんに負けないようにしつかり勉強しないと、思つていたんです。

○年代ぐらいの家具に関する情報はネット上にはほとんどなかつたんですね。メーカー名などが分かつても、古くてどんな会社なのは分からぬといった感じだったのを覚えています。

なので、昔の家具に関する雑誌とか家具のカタログなどを中古で買って、スキヤンしてPDF化し、検索できるようにして勉強しました。その内容を商品説目に落とし込んだりして販売していました。

一般社団法人 武藏府中法人会



広報委員長が行く！

# (株)モーベルマン

代表取締役社長  
丸島 祥平 氏



村野広報委員長

古い雑誌とか本でしつかり勉強されたんですね。PDFにもして、すごいですね。

丸島さん

ありがとうございます。

それを他の業者さんや（業界の）後輩たちが参考してくれて、知識をもう一回掘り起こしてもらえれば、もうなくなってしまった家具屋の想いなんかも引き継がれていくんじゃないかな、と当時は思っていました。

やつぱり今は、新しい商品や見たことない商品が入ってきたら、僕もそうですし他の業界の方々もネットを使つてどういう商品なのか調べるので、ネット上で他の業者さんがそのままの文書を使って出品されていると、自分のを参考にしてもらつたんだな、業界全体のレベルの底上げになつたなと思つてます。

村野広報委員長

私もそうですけど、今は何でもインターネットで調べますよね。

丸島さん

そうですよね。



丸島さん

少し別の話になるんですが、今一九六〇年～七〇年代に作られた日本独特的形の家具が、海外ではちょっと盛り上がるんじゃないかなと思つていて。日本の、いわゆるジャパニーズモダンと呼ばれるような、戦後日本のデザインの礎となつたような家具たちで、これが日本でも今、再評価されてしまうし、海外でもかなり高値で取引されているんです。



これ（写真）はアメリカの建築家のフランク・ロイド・ライトがデザインした椅子で、旧帝国ホテルで使われていて、一〇年位前にはなんでも鑑定団で一脚二〇〇万の値段も付いたピーコックチェアです。今ではもつと高くなっているんですけど、これが今うちに四脚あります。

ただ、これを売つてくれたお客様は価値をご存じなくて、地元ではゴミだと言われたみたいなんです。でもうちで買い取るときは、日本一の値段になるように設定して買い取っています。

丸島さん

もちろん利益が出るようにはするんですけど、うちの理念として、価値あるデザインを次の世代に繋ぎたいという思いがありますので、あまり安く買い取つてしまふと、その価値自体を否定してしまうことになるのではないかと考えています。それで評判に繋がつて、また良い買い取りができるらしいなと思っています。

これを売つてくださつたお客様は相続で頂いたみたいで、何も知らずこれで普通に晩御飯を食べてらつしやいました（笑）。

村野広報委員長  
日本一、すごい。



# (株)モーベルマン

代表取締役社長  
丸島 祥平 氏



村野広報委員長  
こういうのは、どのくらいまで  
リペアするんですか？  
丸島さん  
難しいところなんですが、こう  
いうオリジナルで全部残っている  
のが大事な場合もありますので、  
そういう場合は埃を落として木の  
部分に栄養を与えてあげる程度で  
終わらせますし、必要であれば塗  
装などを剥がしてもう一度塗装し  
なおす方が価値が上がる場合もあ  
ります。

村野広報委員長  
なるほど、普段使いで。  
丸島さん  
そうなんです。今はもう旧帝国  
ホテルも取り壊されていますが、  
帝国ホテルの大きな階段の裏  
に同じものが展示されています。

当時この椅子は宴会場で使われ  
ていて、量産品ではないので数が  
増えるわけではなく価値も上がっ  
ています。

お客様は相続されて何も知らな  
かつたみたいですが、うちの買い  
取り実績ページを見てお電話いた  
だいて、その翌日には愛知県に行  
きました。これくらいのフットワ  
ークでやっています。



村野広報委員長  
素晴らしいですね。  
こういうのは、どのくらいまで  
リペアするんですか？  
丸島さん  
難しいところなんですが、こう  
いうオリジナルで全部残っている  
のが大事な場合もありますので、  
そういう場合は埃を落として木の  
部分に栄養を与えてあげる程度で  
終わらせますし、必要であれば塗  
装などを剥がしてもう一度塗装し  
なおす方が価値が上がる場合もあ  
ります。

これがまだ体系化されてないの  
で、僕もこの業歴で培ってきたノ  
ウハウを、スタッフたちに教えな  
がらメンテナンスをしているとい  
うのが現状ですね。

村野広報委員長  
やりがいに繋がりそうですね。  
丸島さん  
やはり入荷した状態ではボロボ  
ロだつたものが、しっかりとメン  
テナンスをしてあげるとシャキッ  
とした表情になりますから。そう  
するとやりがいがあるなと僕自身  
思いますし、スタッフも喜んでま  
すね。まあ、二〇年もすればクタ  
クタになってしまいますし、子供が飛  
び跳ねればまたクタクタになるん  
ですよね。

村野広報委員長  
素晴らしいですね。

村野広報委員長  
素敵ですね。

丸島さん  
配達業者さんのエリアもあるの  
で、あまりお見せしたり写真撮つ  
たりできない場所もありますが、  
これから事務所と倉庫をお見せし  
ますね。

村野広報委員長  
よろしくお願ひします。

（モーベルマン見学中）



# (株)モーベルマン

代表取締役社長  
丸島 祥平 氏



～ピーコックチェア～



～家具の撮影コーナー～



～おしゃれな事務所～



～高名なデザイナーの  
デザインしたクローゼット～

村野広報委員長 丸島さん ありがとうございます。  
今日はありがとうございました。外までお見送りします。

北欧で家具を意味するモーベルという言葉にマ  
ンを付けた、僕の造語になります。

これはうちが「モーベルマン」なので「ドーベ  
ルマン」なんです。まだ気づいてくれた人はいな  
いですけど（笑）。



～扉の外で待機中の  
ドーベルマンくん～

丸島さん と、こんなかたちでやつております。  
この置物も、誰か有名なデザイナーですか？